



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 株式会社山田債権回収管理総合事務所 上場取引所 東
 コード番号 4351 URL <http://www.yamada-servicer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 晃久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中 光行 TEL 045 (325) 3933
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,637	34.7	73	—	58	—	102	—
2020年12月期第3四半期	1,215	△24.0	△296	—	△262	—	△266	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 120百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 △242百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	24.04	—
2020年12月期第3四半期	△62.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	5,660	3,131	55.3
2020年12月期	6,179	3,053	49.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 3,131百万円 2020年12月期 3,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年12月期	—	0.00	—		
2021年12月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,821	34.6	280	—	272	—	173	—	40.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	4,268,000株	2020年12月期	4,268,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	8,396株	2020年12月期	8,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	4,259,622株	2020年12月期3Q	4,259,633株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく景気、不動産市況、金利、為替動向等の社会・経済動向の変化が含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により引続き厳しい状況におかれまして。今後の状況等について注視してまいります。

このような環境下、当社グループは、「顧客第一主義」を経営理念に掲げ、「不動産・債権に関するワンストップサービスの提供」をビジネスモデルとして、サービサー事業、派遣事業、不動産ソリューション事業等を展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が1,637百万円（前年同期比34.7%増）となり、営業利益は73百万円（前年同期は営業損失296百万円）、経常利益は58百万円（前年同期は経常損失262百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は102百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失266百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① サービサー事業

サービサー事業においては、既存の購入済み債権からの回収等が順調に進み、売上高は616百万円（前年同期比169.6%増）、セグメント利益は335百万円（前年同期はセグメント損失30百万円）となりました。

なお買取債権の新規購入は相応の実績がありました。

② 派遣事業

派遣事業においては、派遣先の業況が比較的順調に推移したことから、売上高は1,009百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は154百万円（前年同期比51.1%増）となりました。

③ 不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新規の営業活動で思うように面談が進まない等のケースがありました。底地ビジネスに引続き注力する予定です。売上高は30百万円（前年同期比58.2%減）、セグメント損失は41百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産5,660百万円（前連結会計年度末に比べ518百万円減）、株主資本2,992百万円（同59百万円増）となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は4,602百万円（前連結会計年度末に比べ422百万円減）となりました。これは主に、現金及び預金73百万円の減少、販売用不動産42百万円の減少、買取債権292百万円の減少によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は1,057百万円（前連結会計年度末に比べ96百万円減）となりました。これは主に、投資有価証券101百万円の減少によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は1,541百万円（前連結会計年度末に比べ617百万円減）となりました。これは主に、短期借入金590百万円の減少によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は987百万円（前連結会計年度末に比べ20百万円増）となりました。これは主に、繰延税金負債6百万円の増加、退職給付に係る負債5百万円の増加、役員退職慰労引当金14百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は3,131百万円（前連結会計年度末に比べ78百万円増）となりました。これは主に、配当に伴う利益剰余金42百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金102百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症が業績に及ぼす影響に不透明感はあるものの、期末に向けてサービサー事業、不動産ソリューション事業において当第3四半期からずれ込んでいる商材を含めて業績を積上げる見込みであり、2021年2月9日発表の「2020年12月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

なお、新型コロナウイルス感染症による業績への影響等により今後業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,610,486	1,537,268
売掛金	114,997	121,104
買取債権	3,735,128	3,443,112
販売用不動産	203,055	160,070
仕掛品	1,297	1,163
未収入金	61,311	87,982
未収還付法人税等	25,626	50,828
その他	72,674	78,930
貸倒引当金	△799,550	△877,806
流動資産合計	5,025,027	4,602,655
固定資産		
有形固定資産	60,862	70,041
無形固定資産	13,387	11,045
投資その他の資産		
投資有価証券	843,239	741,909
差入保証金・敷金	156,418	156,518
繰延税金資産	1,254	180
その他	78,988	78,162
投資その他の資産合計	1,079,901	976,769
固定資産合計	1,154,151	1,057,856
資産合計	6,179,179	5,660,511
負債の部		
流動負債		
買掛金	1	166
短期借入金	1,940,000	1,350,000
未払金	80,298	58,852
リース債務	19,960	21,626
未払法人税等	38,930	10,842
預り金	29,632	15,388
賞与引当金	17,000	45,817
その他	32,839	38,676
流動負債合計	2,158,663	1,541,368
固定負債		
リース債務	35,257	30,465
繰延税金負債	52,850	59,277
役員退職慰労引当金	609,534	624,112
退職給付に係る負債	235,582	241,121
預り保証金	21,620	21,260
資産除去債務	10,899	11,043
その他	1,441	446
固定負債合計	967,186	987,726
負債合計	3,125,849	2,529,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,084,500	1,084,500
資本剰余金	806,840	806,840
利益剰余金	1,044,488	1,104,293
自己株式	△3,167	△3,194
株主資本合計	2,932,661	2,992,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,667	138,976
その他の包括利益累計額合計	120,667	138,976
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,053,329	3,131,416
負債純資産合計	6,179,179	5,660,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	1,215,378	1,637,436
売上原価	1,080,678	1,099,624
売上総利益	134,699	537,812
販売費及び一般管理費	431,105	464,043
営業利益又は営業損失(△)	△296,406	73,768
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,410	5,836
家賃収入	10,355	8,147
投資事業組合利益	38,746	—
設備賃貸料	11,869	7,971
その他	3,809	9,405
営業外収益合計	70,191	31,360
営業外費用		
支払利息	16,495	19,011
家賃原価	1,776	1,745
持分法による投資損失	11,191	23,328
投資事業組合損失	—	1,833
その他	6,332	1,171
営業外費用合計	35,796	47,091
経常利益又は経常損失(△)	△262,011	58,037
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△262,011	58,037
法人税、住民税及び事業税	3,769	△45,076
法人税等調整額	396	712
法人税等合計	4,165	△44,363
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△266,177	102,401
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△266,177	102,401

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△266,177	102,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,560	18,308
その他の包括利益合計	23,560	18,308
四半期包括利益	△242,616	120,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△242,616	120,710
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

新型コロナウイルス感染症により、今後も営業活動に影響があるものと見込んでおります。ただ、このような状況は、2021年末に向けて徐々に正常化すると仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、収束遅延により影響が長期化した場合には、将来において当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	228,478	912,961	73,938	1,215,378	—	1,215,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	24,516	—	24,516	—	24,516
計	228,478	937,477	73,938	1,239,894	—	1,239,894
セグメント利益又は損失(△)	△30,267	102,330	△2,597	69,465	△3,096	66,369

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,215,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	△24,516	—
計	△24,516	1,215,378
セグメント利益又は損失(△)	△362,775	△296,406

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主なものは、全社費用の362,901千円であり、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2021年1月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	616,038	988,709	30,874	1,635,622	1,814	1,637,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	21,084	—	21,084	—	21,084
計	616,038	1,009,794	30,874	1,656,706	1,814	1,658,520
セグメント利益又は損失(△)	335,317	154,613	△41,022	448,908	△2,063	446,844

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,637,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	△21,084	—
計	△21,084	1,637,436
セグメント利益又は損失(△)	△373,075	73,768

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主なものは、全社費用の373,085千円であり、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。